

# 人口減少・超高齢社会における 暮らしやすく持続可能なまちづくり

都市計画課都市計画係 ☎(63)2209

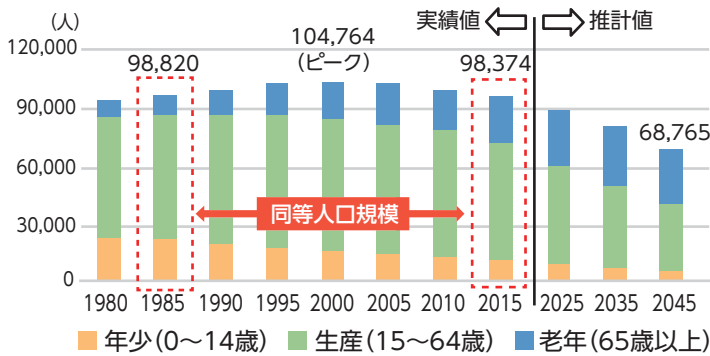
本市では、持続可能なまちづくりの実現に向けた都市計画の方針である「鹿沼市都市計画マスタープラン」において、都市づくりの目標として「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を掲げています。

現在、その具体的な計画となる「立地適正化計画」の策定に取り組んでいます。

## 人口減少・少子高齢化時代の課題

今後、鹿沼市においては、人口減少と少子高齢化が進行することが予想されています。それにより、市街地ののみが取り残され、空き地や空き家が増加し、商業施設などの撤退や公共交通の本数の減少などの生活サービス機能の低下につながる事が考えられます。

### 鹿沼市の人口推計と年齢階層別人口の構成割合の推移



資料:平成27年国勢調査(総務省統計局)、日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)(国立社会保障・人口問題研究所)

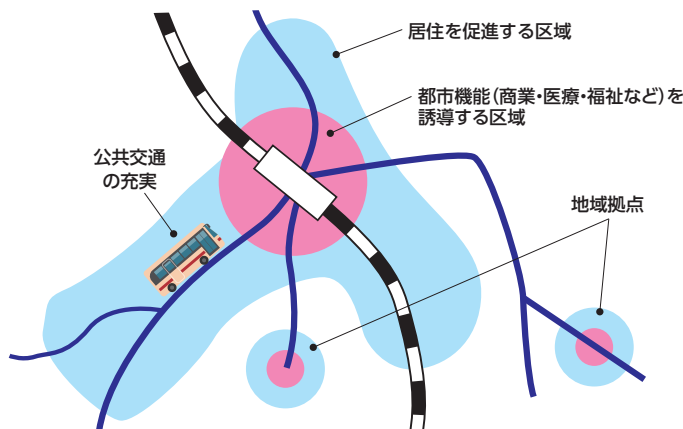
本市の人口は、2045年には、68,765人になると推計され、ピーク時である2000(平成12)年より約34%、2015(平成27)年より約30%減少すると予想されます。

また、2015年は1985(昭和60)年と同じ人口規模ですが、老年人口と年少人口の割合が大きく変化していることがわかります。今後も、ますます老年人口の増加や生産人口の減少が進み、医療費の増加や税収の減少が深刻化することが予想されます。

## 持続可能なまちづくりに向けて

人口減少や少子高齢化に対応したまちづくりのため、本市では、まちの機能を集約した拠点を、それぞれ道路や公共交通等で結び連携・交流を図る「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を目標として掲げ、実現するための具体的な計画として「立地適正化計画」の策定を進めています。令和2年度には、住民説明やパブリックコメントを実施する予定です。

### 「立地適正化計画」のイメージ



資料:立地適正化計画概要パンフレット(国土交通省)

### コンパクトシティ(拠点の形成)

- 商業・医療・福祉等の民間施設を含めた生活サービス機能の誘導
- 公共交通の沿線への居住の促進



### ネットワーク(公共交通の整備)

- 拠点間を結ぶ電車やバスなどの交通サービスの整備
- 公共交通の乗り換え拠点の整備
- 拠点内の歩行空間や自転車利用環境の整備

市街化調整区域においては、既存集落の活性化および地域コミュニティの維持を図るため、開発許可基準の一部見直しを検討しています。